

# 平成28年度 学校法人 三幸学園 札幌こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 石川 好典

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 武田光平氏

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

本校の教育理念は「技能と心の調和」であり、目指す人材育成像は「素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで、社会に貢献する人材」である。

また、本校生徒のかかわる分野(保育・教育)では「皆から信頼・感謝され、こどもの未来を育む人材」を育成目標とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成28年度 教務目標:集団生活のルールを守り学校生活をよりよいものにしようとする心を育てる。

### ■学校生活をよりよいものとする為に退学率の低減

- ・職員会議における生徒状況の共有、連絡ファイルを使った教科担当教員への共有
- ・生徒会の創設:学校運営への巻き込み(生徒の発案、発想を活かせるよう支援)
- ・学科学年会議の実施及び目標設定

### ■基本的生活習慣を身につけた生徒育成(凡事徹底)

- ・入学前ガイダンスの実施 オープンキャンパスのギャップ払拭
- ・朝礼にて職員、時を守り(皆勤)、場を清め(清掃)、礼を正す(あいさつ)の浸透
- ・朝、職員室などへのあいさつ指導
- ・保護者との連携:5月以降保護者へのご挨拶電話

### ■AL(アクティブラーニング)の浸透

- ・全体会議(3月、8月、翌年2月)での研修

## ② 学校関係者評価委員会コメント

- ・保育や心理など、先生が経験を加えて実践に即して行ってくれた授業は、今でもかなり役立っている。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

●学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか

⇒入学時・行事等で周知はしているが、その後に周知することはなく、年数が上がることに薄れているのではないかと。昨年度までは、成功の法則の中で教育理念について学ぶ時間があったがシラバス変更に伴い学生が触れる機会が減っている。また、その保護者まではまだまだな部分がある

#### ② 今後の改善方策

徹底策として教職員に朝礼・会議を通し教務の位置づけとして意識向上を図り、普段の授業と HR や実習対策を活用して生徒への浸透に取り組む。（教育理念、ミッション・ビジョン、目指す人材育成増）

教育課程以外においてはスタディサプリ(SNS)や保護者宛文書等を活用して発信し、周知していく。

#### ③ 特記事項

なし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

<保護者への理念浸透について>

・園では、入園説明でお話する、玄関に掲示する、保護者への日々の活動報告でお話するなどして、園の方針が浸透するように働きかけている。

また、ホームページやパンフレットのトップページに大きく掲載し、見ていただける工夫をしている。

・園に通わせる保護者の立場から、園歌(校歌)は、その園を表していると感じている。

<生徒への浸透について>

・高校では、始業式・終業式などの機会に、生徒にお話している。年4回はお話できる機会がある。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

●コンプライアンスの順守に対する職員の周知徹底が図れていない。

●情報システム化等による業務の効率化が図られているか

⇒規定や方針はしっかり示されており、適切に機能していると思われるが業務の効率化については教務事務を導入し改善を図っているが、まだまだ図れておらずもっと図るべき。

### ② 今後の改善方策

●特に個人情報の管理(細則)について、職員に徹底する場を設ける。(履歴書、試験結果、実習評価など)

●教務事務が導入され改善が図れている面はあるが、情報システム化については今後進めていく。

●削減できる業務を各校務分掌で見直し、スマート化させる

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

#### ① 課題

- 教員の資質向上に向けた取り組み、というのも実習における質の担保が園や施設から求められることから特に保育業界に関わる分野での研修が更に必要。
- 各講師がそれぞれの授業に目的を持って取り組んでいるがそれを共有・検討する場が少なく、(1)の将来構想が一致しているかわからない。全ての授業が最終ゴールに繋がることを再認識することが必要。
- 教務の研修が少ない(全ての教員)
- 専門の知識をもった教職員は多いが、今まで以上の「能力開発」「知識増加」等に関しては、学校からの仕掛けはできていない現状だと思います。また、生徒へ対しての外部からの学びの機会(就職ガイダンスなど)はあるが、教員側の学びの機会が設けられていない。またカリキュラム等の見直し等に関しても業界との関係性を繋げておく必要がある。全体会議等での実施や研修会等の検討も必要かと思います。

#### ② 今後の改善方策

- 新人研修を含めた校内研修の実施
- 市内園長を招いた情報交換会は開催されているので、その中でさらに学校として求められることや具体的な指導内容について、ご意見をいただく場を設ける。
- 全体会議等で行う研修を増やし、学校全体で教務力アップを図る(惹きつける授業)

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・実習では、掃除の仕方が褒められた。学校でしっかり教えてもらえたことがよかった。
- ・指導案については、園によって方針等が違うので、年齢に応じたポイントを教えてもらい、自分でアレンジできるようにするとよい。  
また、形式上はしっかり書いているが、内容は薄い。想像力が乏しいと感じる。見たり、聞いたり、経験することが大切と感じている。
- ・教職員研修については、個人がつけた力を次につなげていくことが大切と感じる。研修を通して、自分が気づき、力にしていけることができるとよい。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

- 卒業生、特に卒業後2年以上を経過した生徒の動向が把握できていない。
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか  
⇒園訪問や自身が出した卒業生のみしか把握できていない。（異動・退職した担任メンバーと関わっていた学生に関してはまったくわからず）
- 退学率に関しては、徐々に下がりがつつあるが、今後も学校としての問題と捉え、より低減を図る必要がある

##### ② 今後の改善方策

- エリア担当が情報を把握し、定期的な園訪問の中で状況を調査する。
- 同窓会の活用。
- 園訪問等で卒業生のお伺いし、園個票(園毎の実習受入、就職履歴)で情報を残す。
- 早期発見・先生方との協力といった面での、今まで以上の情報共有体制を検討する。

##### ③ 特記事項

なし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・就職後、長く続けていけるために、クラッシャー上司・先輩への対応研修があるとよい。

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	2
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

### ① 課題

- 学生相談に関して、スクールカウンセラーは設置されているが、ほとんど活用されていない。
- 学生の健康管理について、組織体制がない。
- 退学者に関して、支援体制はない。
- 学生相談に関する体制は整備されているか  
⇒カウンセラーがいるものの在中ではなく自分で申し込みしアポイントをとるものであるため、求めている時にすぐ行動できず、話を聞いてほしいがその過程を踏む勇気がない学生がいるのではないか。
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか  
⇒知識がある教員が在中しているわけではない
- 欠席・遅刻等が多いことから、健康面・生活環境面に関しての指導に力を入れていく必要がある

### ② 今後の改善方策

- HRを活用したスクールカウンセラーによる講義の実施。
- エリア担当による、卒業生動向の把握。同窓会の活用。
- 保護者への健康維持に関する協力依頼。
- 面談やHR等での意識改革、具体的な実行案等を生徒へ提示していく。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業生として、健康管理体制について不便は感じていなかった。栄養や、保健の先生からアドバイスをいただいていた。
- ・卒業生支援について、卒業生への浸透がなかなか図れていないと感じる。卒業すると学校のことを知る機会が減るため、自分からではなく、学校から随時発信してもらえる仕組みがあるとよい。

- ・退学者支援・防止について、スクールカウンセラーが活用されると、防止につながるのではないかと。在校していた時は、まわりが気になり行きづらさがあった。担任や教科の先生が相談に乗ってくれたので、必要性もなかった。

メール相談などもできるとよいかもしれない。

高校生の利用者は多い。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

- 防災に対する体制は整備されているが、周知されていない。
- 体制は整備されているが周知はされていない。（避難訓練未実施）
- 施設等については、施設ありきでやりくりしている部分もあるので、教育カリキュラムを検討していく必要もあるかと思えます。施設実習の際に実習先が確保できていない時期もあるため、実習巡回以外でも、企業訪問が必要となってきたように感じます。

#### ① 今後の改善方策

- 防災体制を周知する場を設定する。（全体会議において）
- 周知する時間を設ける。また全体で避難訓練はできなくとも、職員だけでもシミュレーションを行う。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

なし



## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- 保育業界で働くイメージダウンによる募集の影響が懸念される

### ② 今後の改善方策

- オープンキャンパスなどで保育者としての魅力をしっかり伝えていく事と併せて本校ならではの特色も伝える。

### ③ 特記事項

- 保育分野の専門学校としては最大在籍者数(道内)

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

中長期計画は2012年に策定したが当該計画は前倒しで終了している為、今年度に更なる中長期計画策定する必要がある。

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

### ② 今後の改善方策

#### 【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

#### 【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

- 多くの個人情報(在校生、卒業生、資料請求者)を管理している事から情報管理の徹底を図る。

### ② 今後の改善方策

- 再度、個人上取り扱いの細則を確認する機会を担任会議、全体会議を活用し設ける。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

### ① 課題

- 「あそびのひろば」の開催や企業からの依頼を受け、地域貢献ができていると思われる。
- ボランティアの活用が機能していると思われる

### ② 今後の改善方策

- 継続させる事

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は「源泉」すなわち全ての結果は自分がつくりだしている、という立場をとる事。そして自分で作りかえることが出来るという事を重点目標に掲げており、「教員の連携・意識向上」「保護者と連携強化」「学生の意識向上」学校にとって今後も大切な目標となってくるため、継続的な仕組み作りが必要である。

多様な生徒が多く入学してくる現状を考えると教員の教育力のみならず、それに付随する知識も身に付けていかなければならない。まだまだ体制が完璧に整っているとは言えないことを考えると外部研修や勉強会などを積極的に行う必要がある。個々に必要な対応をするためには授業に関わる教科担当との連携も重要となる。情報共有を積極的に行い、協力体制を構築していく。心の悩みを抱えて入学する生徒が増えているため、スクールカウンセラーにも相談しつつ、柔軟な対応が求められる。

学校だけでは対応しきれない、指導しきれない部分もあることを考えると継続的に保護者との連携も必要となる。改めて「専門学校は社会人育成の場」であるということを念頭に置き、学生から社会人へ成長させる学校でありたいと思う。

学校を運営していく限り「選ばれる学校」を目指し「教務・就職・広報」において、生徒・社会が満足するサービスを提供したい。それと併せて、働く教員が「誇れる学校」と思えるような学校を目指していきたい。

外部からの評価は、企業でも大切にしている。

すべてを受け入れることは難しいと思うが、これを通してよいつながりが持てるとよいと思う。

以上